

平成 2 5 年度

学校自己評価表（報告）

学校運営計画				
学校運営方針		教育目標『常識と責任を持ち、社会に信頼される人物の育成』を達成するため、生徒に「学ぶ」ことの大切さを理解させ、社会で自立し、よりよく生きる基礎力を身に付けさせるとともに、保護者や地域の期待と信頼に応える学校をめざす。		
昨年度の成果と課題		年度の重点目標	具体的目標	
生徒一人ひとりに対して、担任を中心に各分掌とも密接な連携をとりながらきめ細かな組織的な取り組みを行い、学習指導、生徒指導、進路指導等に一定の成果を収めることができた。長期欠席者が倍増するとともに、中途退学率も倍増した。今後とも、多様な生徒に対しての組織的な生徒指導体制を充実させていくとともに、早期に生徒一人ひとりに卒業後の進路目標を持たせ、その達成に向けて教職員の実践的指導力を高めていくことが必要である。		・日々の授業を充実させ、進路実現のための基礎学力の定着を図る。 ・社会性育成のための諸活動を充実させる。	①「わかる」授業の展開と改善 ②成績不振者を出さない授業 ③自学自習の習慣化	
		・生徒の実態に応じた支援を充実させ、健全な心身の育成に努める。	①行事・生徒会活動・部活動をとおした生徒の人格形成 ②ボランティア活動への積極的な参加 ③人権教育・同和教育の推進	
		・学校の評価を基に、教育活動全般の改善に努める。	①生徒相談体制の充実 ②個別支援・個別指導の充実 ③基本的な生活習慣の確立	
		・保護者や地域と連携を深める。	①各種アンケートを基に現状分析 ②改善に向けての計画的な取り組み ③PTA行事の活性化と参加率の向上 ④教育活動の発信と広報の充実 ⑤中学校や関係機関との連携強化	
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
日々の授業を充実させ、進路実現のための基礎学力の定着を図る。	国語科 ・基礎学力の向上 ・分かりやすく、生徒が興味関心を示す授業	・生徒が苦手とする項目は確認テストを行い、また単元ごとに漢字プリントを作成し、基礎的な学力を定着させる。 ・必要に応じて補習を行い、基礎学力の定着を図る。	3	3 4
		・古典については、古典文法や漢文の訓点に偏ることなく、生徒が興味関心を持てるような授業を展開する。	3	
		・漢字練習を行い漢字検定の受検を促す。また、問題集の貸し出しなどを行い、積極的な取り組みのサポートをする。	4	
		・家庭学習の重要性を呼びかけ、学習方法を具体的に指導する。 ・補習や個別指導を実施し、学力の向上を図る。	4 4	
基礎学力の定着を図る。	数学科 ・基礎学力の向上 ・分かりやすい授業	・1 学年数学 I ・ A で 2 クラス 3 展開 ・ 1 クラス 2 展開の習熟度別授業を実施し、きめ細かな指導を行う。	4	4
		・夏冬春とゴールデンウィークの長期休みの課題を出し、重く評価する。	5	
		・週末課題を出し、家庭学習の定着を図る。	5	
		・2 学年ライフデザインコース数学 II で 2 クラス 3 展開 ・ 1 クラス 2 展開の習熟度別授業を実施し、きめ細かな指導を行う。	4	
		・希望者を対象に進学補習を実施する。	3	

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上 実験、実習の充実 環境問題への意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な内容がわかるような授業展開を工夫し、進路に関わる生徒に対しては補習を含めて内容の充実を図る。 	3	3
		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて実験・実習を有効に行い、興味・関心を深める。 	3	
		<ul style="list-style-type: none"> 環境問題に対する興味を喚起するような授業を展開する。 	3	
保健体育科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎体力の向上 生涯を通じて健康や体力の保持増進できる能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎体力の向上を目指したトレーニングを年間を通して実践する。 	4	3
		<ul style="list-style-type: none"> 24年度実施の新体力テストの結果を踏まえ、25年度に向けて県平均を下回っている項目について重点的に取り組み、向上させる。 	3	
		<ul style="list-style-type: none"> 科目保健では、常に身近な健康問題と絡めた内容で興味・関心を持たせ、若い時期からの健康づくりの必要性を理解させる。 	3	
芸術科	<ul style="list-style-type: none"> 演奏や作品をとおして表現する喜びを得させる 	<ul style="list-style-type: none"> 観る、聴くなどの基本的態度を身につけさせる。 	3	3
		<ul style="list-style-type: none"> 様々なアプローチを体験するなかで、表現の多様性に気づかせる。 	3	
		<ul style="list-style-type: none"> 発表の機会を設け、周りとの関係のなかで自己の演奏や作品を客観的に理解させる。 	4	
		<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導を行い、表現の意欲を高めさせ、持続させる。 	3	
英語科	<ul style="list-style-type: none"> 学力の向上 コミュニケーション能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 各種課題、補習をとおして基礎学力の定着を図る。また、進学希望者に対しては小テストや補習を実施し学力の向上を図る。 	3	3
		<ul style="list-style-type: none"> 1学年は少人数制授業を実施し、きめ細かな指導をする。 	4	
		<ul style="list-style-type: none"> 英語検定の取得を促し、授業にとどまらない開かれた英語学習に臨む姿勢を伸長し、併せて授業の活性化を図る。 	3	
		<ul style="list-style-type: none"> 英語検定準2級以上の合格を目指し、必要な授業を行う。 	3	
		<ul style="list-style-type: none"> A L TとのT Tを継続的に実施し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 	4	
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> 衣、食、住、保育、福祉の各分野において、基礎的な知識と基本的な技術を身につけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向け、授業時間の5割は実践的な態度を育てるためにワークシートを記入させ、自己の問題として捉えさせ、身につけさせる。 	4	4
		<ul style="list-style-type: none"> 実習において、班別学習を展開し班の代表者に師範するように指導することにより、責任感や覚えようとする意識の醸成を図る。 	4	
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりに目を配り、個別指導を充実させ基本的な技術（切り方、加熱の仕方、扱い方等）を習得させる。 	5	
情報科	<ul style="list-style-type: none"> 情報技術の習得 情報モラルの育成 	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトなどを利用し、情報技術を習得させる。 	4	4
		<ul style="list-style-type: none"> 実習を通して実践的な態度を育てる。 	4	
		<ul style="list-style-type: none"> 情報技術に偏ることなく、情報モラルの育成を図る。 	4	
商業科	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスのしくみを理解し、基礎的、基本的な知識の理解と技能を習得する 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本的な内容について、具体例を挙げ理解を深める。 	4	4
		<ul style="list-style-type: none"> 実習や事例を多く取り入れ、基礎基本の理解を深める。 	4	
		<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事等を活用し、具体的・現実的な事象に対して理解を深める。 	4	

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
基礎学力の定着	進路指導部	・進路希望達成率100%を目指す	・進路ガイダンスや進路だよりを通じて、生徒・保護者に進路への準備と対策を促す。	4	4
			・進路意識啓発のため「総合的な学習の時間」を活用し、適性検査や学力検査を実施する。	4	
			・進路選択のために学校・企業訪問や進路体験講話を実施する。	4	
			・進路資料室の機能を強化する。	4	
	〈就職〉 ・適性に合った職種選択	・校内においては担任との連携を、校外においてはハローワークや事業所との連携を深める。	4	4	
		・面接練習や履歴書指導などの事前指導を十分に行う。	4		
	〈進学〉 ・将来を見据えた学校選択	・校内ガイダンスを充実させる。	3	4	
		・様々な入試に対応可能な指導を実施する。	4		
		・個別指導を基本とする面接指導を充実させる。	4		
		・校外模試を積極的に受験するように促す。	3		
	1学年	・基礎学力の定着と基本的な生活習慣の確立を目指す ・生徒一人ひとりが安心して学習できるクラス環境づくりを進め、生徒の自己肯定感を高め、いじめの防止を図る ・自己を知り、自分の進むべき進路を自ら開拓していこうとする力を育てる	・学年としての服装・頭髪指導を通して、基本的な生活習慣の定着を目指す。	3	3
			・日々の授業を大切にすようきめ細かく指導する。	4	
			・学校・学年の行事を通して民主的な自治活動のしほみを指導する。(そのような学年行事を企画する)	3	
			・上記行事の際、クラスのリーダーを指導できるような「学年HR委員会」体制を作り、活用する。	3	
			・生徒ひとりひとりの個性と力に相応した進路指導を行う。指導に当たっては、意味のない意識高揚は避け、保護者・生徒双方に現実を正確に把握してもらえよう指導する。	3	
	2学年	・進路実現に向けた取り組みを促す ・学習における基礎基本の確立を目指す	・より具体的な事例を紹介して、進路意識の向上を図るとともに、個人面談等で進路実現に向けた具体的な取り組み方について指導する。	3	3
・資格試験や模擬試験の受験を奨励するとともに、進路実現に向け取り組みを促す。			2		
・学習する姿勢と人間関係作りをタイアップさせ、学習の習慣のない生徒たちに基礎基本の定着を図る。			4		
3学年	・進路実現に向けた取り組みを促す ・学習に対する姿勢の確立を目指す	・自分の実力と社会の状況を適切に分析し、現時点での最善の方法をとれるように指導する。そのために学年通信、保護者面談などを有効に利用する。	4	4	
		・自分の実力と社会の状況を適切に分析し、現時点での最善の方法をとれるように指導する。そのために学年通信、保護者面談などを有効に利用する。	4		
教務部	・生徒の学習活動のための環境づくり	・授業時数を十分に確保し、生徒の基礎学力確保につとめる。	3	4	
		・全教科のシラバスを作成し、ホームページ等を活用し公開するとともに、冊子として生徒・保護者に周知し、学習効果の向上に役立てる。	4		

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価				
社会性育成のための諸活動を充実させる。	1 学年	・望ましい人間関係を確立する	・校外HRで、野外炊飯を通じて、食育活動とコミュニケーション能力の醸成を図る。	4	4	4	
	2 学年	・学校行事を活用し適切な人間関係の確立を目指す	・校外HR（野外活動）や修学旅行などの学年行事をとおして、生徒のリーダーを育て、生徒たちの力で民主的な集団作りができるよう指導する。 ・望ましい人間関係を育成するとともに、集団の一員としての適切な行動を実践させる。	4	4		
	3 学年	・学校行事を活用し適切な人間関係の確立を目指す	・学校行事のみならず、学年行事を各クラスのHR委員に企画・運営させ、リーダー性を指導する。また、民主的な集団作りの基本を指導する。	4	4		
	生徒会指導部	生徒会活動への積極的な参加への意識を高める	・部活動の活性化	・部活動の加入率を高めるため、新入生の全員加入を義務化する。部活登録後も加入の呼びかけをする。近年の加入率の経年変化を調べ次年度以降の参考資料とする。	4	4	
			・ボランティア活動への積極的な参加	・各種募金活動に参加するとともに、市の活動にも多くの生徒が参加するよう促す。	4	4	
			・評議会（HR委員会）を開催する。 ・早期に各委員会を開催することで、委員会を有効に機能させる。 ・校歌をきちんと歌えるようにするために、各種行事を積極的に活用して、校歌指導の機会を多く持つ。	4	4		
	同等和教教育推進委員平会	・健全な人権意識と差別を許さない心を育てる	・全校生徒対象の人権教育講演会を開催する。	5	5		
			・各種同和教教育研修会等に積極的に参加し、全職員への報告を行うとともに、その成果を生徒の指導・啓発に生かす。	5			
	生徒の実態に応じた支援を充実させ、健全な心身の育成に努める。	生徒指導部	・生徒の基本的生活習慣の確立と自立心を培う	・状況をふまえながら、朝・昼の立ち番指導（校門、生徒玄関など）や校内校外の巡回指導を適宜行う。	5	4	3
			・問題を抱えた生徒の早期発見と適切な指導に努める	・生徒に対して指導の主旨を明確に提示し、生徒達の自主的な規範意識の啓発に努める。	3		
・喫煙、盗難など問題行動防止に努める			・定期的に全校服装頭髪検査を実施し、継続的に指導を行う。	3			
・交通事故や違反の未然防止と再発防止に努める			・生徒の遅刻防止や授業規律への意識を高め、規律正しい学校生活を送るよう努める。	4			
・交通講話（4月）やバイク実技指導（9月）を行い、交通社会のマナーや責任感の向上に努め、交通違反事故0件を目指す。			・薬物乱用防止講演会を催し、生徒へ周知を図るとともに問題の未然防止に努める。	4			
・基本的な生活週間等の定着を目指す			・遅刻、欠席、服装・頭髪の乱れについては改善に向けて根気強く指導し、保護者と共通理解の上で連携を図っていく。	3	3		
・自己肯定感を高める指導をする。			・服装、頭髪指導などを実施し、社会規範の定着を目指し、自己の現在の位置が他者にはどう映るかを客観的に見つめられる能力を指導する。	3			

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価			
	3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣等の定着を目指す ・服装・頭髪検査などを通して、高校生としての社会の基本的なマナーを身につけるよう指導する。 ・学年通信等を通じて保護者に理解と協力を求める 	4	4		
	保体	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の徹底 ・年間をとおして授業時の集団行動（時間、服装、挨拶、安全など）を徹底させ、規律正しい態度を身につけさせる。 	3	3		
学校の評価を基に、教育活動全般の改善に努める。		<ul style="list-style-type: none"> ・正しい現状把握と分析 ・アンケート調査の実施や学校評議員会・地域の声を聞く会を開催し、生徒、保護者、地域の方々からの評価で現状を把握する。 ・学校自己評価の結果を分析し、課題を全職員で共有する。 	4	4	4	
		4				
		<ul style="list-style-type: none"> ・改善に向けての計画的な取り組み ・年度初め、中間報告、最終報告の年3回、各分掌等で評価と反省をし課題を全職員で共有し「よりよい学校づくり」を目指す。 ・教員評価では、自己の目標を設定し積極的な研修などで資質能力の向上を図るとともに学校全体の教育力を高める。 	3	4		
		4				
	保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活の推進と快適な学習環境づくりに努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康について関心を持たせるため、講演会を開催したり、保健だよりを随時発行する。 ・保健室への来室者や、心身の健康に悩みを抱える生徒に対し、担任と連携し、問題点を早期に見出し対応する。 	4	4	
			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃やゴミの分別の徹底を図る。 	4	4	
			<ul style="list-style-type: none"> ・月一回の屋外清掃については、監督者に連絡し徹底を図る。 	4		
			<ul style="list-style-type: none"> ・清掃状態の点検や清掃用具の整備を行う。 	4		
	保護者や地域と連携を深める。	教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた学校づくり ・広報活動をとおして、学校の活動を積極的にPRする。 ・学校案内、体験入学を充実させ、地域や中学生に学校をよく知ってもらおう。 	4	4	4
			4			
	1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の状況を積極的に伝える 	3	3		
	2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の状況を積極的に伝える ・家庭に対して学年通信などを活用し、学年の状況や指導方針などを積極的に伝えていく。 ・生徒の成長や自己肯定感の上昇は具体的な事例をもとに伝達する。 	4	4		
	3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の状況を積極的に開示する 	5	5		
	生徒会指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのボランティア活動を通して、積極的に参加して地域との連携を深める。 ・体育祭や翠松祭（学校祭）において、回覧などを活用して地域の方に参加を呼びかける。 ・地元主催の行事へ生徒の参加を積極的に促す。 	4	4	
4						
4						
成果	生徒一人一人に対して、担任を中心に各分掌と連携を密にとり、きめ細かな指導を行ってきた結果、学習指導、生徒指導、進路指導等に一定の成果を修めることができた。		総合評価			
			4			